

新規 CT 装置 (Canon 社製 80 列 Aquilion Prime SP) 導入について
～放射線被ばくの低減・検査待ち時間の短縮～

放射線部 中山 晶子

当院では 4 列 CT (AsteionSP4) の老朽化に伴い、2019 年 1 月 7 日より新しく 80 列(Aquilion Prime SP)の CT 装置を導入しました。

CT とは、Computed tomography(コンピュータ断層撮影)の略で、X 線を使った身体の断面(輪切り)を撮影する装置です。形状はドーナツ型で、身体の周りを X 線管と検出器が対になって回転しデータを収集し撮影していきます。この検出器の列数が多いとより撮影時間も短く、広範囲に細かい撮影をすることができます。撮影方法によっては収集したデータを使用して 3D や他の断面を作成でき、より詳しく身体の構造や病気との位置関係を知ることができます。

この度導入された CT は、検査室内で患者さまの名前が確認できるようになりました。また、検出器の数も 80 列と大幅に増えたことで撮影時間が短縮されます。これまで 30 秒近くかかっていた息止めの検査が 12 秒程度で撮影できるようになり負担がかなり軽減されます。息止めの時間も表示されるため、患者さま自身で残り時間を確認しながら検査を行っていくことができます。

以前の CT 装置でも被ばくに関して日本診療放射線技師会が定める「医療被ばくガイドライン(診断参考レベル DRLs2015 の公表をうけて)」を基準とし

条件を定め撮影を行ってきましたが、80 列 CT(Aquilion Prime SP)は今までと比べてより画質が向上し、さらなる被ばくの低減が可能となりました。

当 CT 装置を導入したことにより対応できる検査の幅が広がり、検査時間の短縮も期待できます。今迄のように検査の待ち時間が 1 時間以上になり迷惑をお掛けすることもなくなると思います。是非、今後の CT 検査に期待して下さい。

CT 検査にかかわらず放射線の検査で不安や不明な点がありましたら気軽に放射線技師にお尋ねください。

